

白金族金属の精製や加工などを手がけるフルヤ金属（本社・東京都豊島区、社長・古屋堯民氏）は、このほど京都大学大学院理学研究科の北川宏教授と写真と顧問契約を結んだ。北川教授は固体物性化学などが専門で、ルテニウムやパラジウムをはじめとした金属・触媒研究で数多くの成果を挙げている。フルヤ金属は北川教授の技術指導のもと、高機能触媒の製品化をより推進していく考えだ。

北川教授は企業との共同研究の実績が豊富で、金属業界でも著名な研究者としても知られている。フルヤ金属は北川教授の協力を受けるべく、工場に招き事業内容や研究体制を説明。その熱意が顧問

フルヤ金属 北川京大教授と顧問契約 高機能触媒製品化を推進



契約につながった。北川教授は「フルヤ金属は研究開発陣が若く、イノベーションへの情熱ある企業。そのチャレンジ精神を応援したい」と思い、顧問をお引き受けした」と話している。

フルヤ金属はイリジウムやルテニウムを用いた製品で世界でも高いシェアを得ている。ルテニウム触媒は燃料電池コージェネレーションシステム「エネファーム」や、シエールガス、メタンガスなどでの活用が注目されており、北川教授はこうした分野で助言していくという。

